

# 東日本大震災対策ニュース

No.1 2011.3.16

福島医療生協

## 福島医療生協の被害状況

### わたり病院

地下水と水道を併用していたため水は確保され、食糧・医療材料などを含めて各職場の奮闘で当面調達できています。北3階病棟の患者さんに2日間南側の建物に移っていただいていたのですが、戻っています。西側非常階段にダメージがあり、玄関付近の通行を規制しています。



わたり病院の対策本部前打ち合わせ

外来は、救急対応が中心ですが、予約の患者さんが来られた場合は対応しています。被災以来、朝・昼・夕に対策本部前で打ち合わせを行い、刻々と変わる情勢に対応しています。

### いいの診療所

現在水道が止まっていますが、建物被害はなく、外来は通常診療を行っています。

### クリニックさくらみず

16日水道が復活しましたが不安定です。建物の被害はなく、通常診療を行っています。

## 被災者医療の現状

原発被災地から県中地域に避難してこられた方の中で、具合の悪い方の診療を行っています。放射性物質の拡散を防ぐため玄関で振り分けを行い、被爆の可能性のある方は別室で診察しています。炊き出しのおにぎりと即席味噌汁・みかんを提供しています。

丹治院長・斉藤紀先生・北條先生、佐藤晶彦先生、いいの診療所の松本所長が、看護師や事務とチームを作って、避難所の訪問を行っています。



避難所を訪問する松本先生とスタッフ

## 職員の現状

ガソリン不足で通勤できない職員は病院に泊まり込んでいます。こうした職員のための炊き出し体制をとっています。学校が休みで出勤できない職員の子どもの保育体制もとっています。

## みなさんに、お願いです

病院の機能を維持する業務やガソリン不足のため、組織部職員が直接組合員訪問を行える状態にありません。理事・支部長・副支部長・支部運営委員のみなさんには、近隣の組合員のみなさんに連絡をとり状況確認してください。医療生協として対処できそうなことがありましたらご連絡ください。